



森博嗣

MORI Hiroshi

素直に生きる 100の講義

100 lectures
by sober observation



素直に生きる

100 lectures by sober observation

100の講義

森博嗣

MORI Hiroshi

大和書房

す なお い こう ぎ
素直に生きる100の講義

2014年8月20日 第1刷発行

著者名……………もり ひろ し
森 博 嗣

発行者……………佐藤 靖

発行所……………だいわ
大和書房
東京都文京区関口1-33-4
電話 03-3203-4511

装幀……………bookwall

装画……………平尾直子

本文印刷……………信毎書籍印刷

カバー印刷……………歩プロセス

製本所……………ナショナル製本

©2014 MORI Hiroshi, Printed in Japan

ISBN978-4-479-39263-7

乱丁・落丁本はお取り替えいたします

<http://www.daiwashobo.co.jp>

0 /100

まえがき

001

↓「ぶれない」なんて嬉しくもない。

1 限目

素直な人生を歩む「開拓」論

1 /100

上手くできません、と初心者言うが、上手いかどうかは二の次。

026

↓結局、上手くなる方法は作り続けることである。

2 /100

原因と結果を逆に認識している人が多い。

028

↓時間がないからやれない、のではなく、

やれないから時間がないと言う、ということに気づくべきだ。

3
/100

やる気がなかった仕事の方が、案外結果が上出来だったりする。

030

↓作業中に楽しみがあるものも、作業中に苦しみがあるものも、どちらも結果的には楽しみが味わえるということだ。

4
/100

終わったときに一息ついたかったら、本当に一息にしよう。

032

↓亀は、一歩一歩が鈍い。一歩踏み出すごとに一服しているようなものだ。

5
/100

苦労は分割できる。

034

↓時間さえあれば、ほかのものはなんとかなる。

6
/100

楽しい努力と苦しい努力の違いはどこにあるか。

036

↓自分でなにか思いつくことが、したがって、

楽しみを見つける一番の方法といえる。

7
/100

常に自分の力は測り、できるかぎりそれを隠す。

038

↓的確に、自分を知っていることが、いざというときに効いてくる。

8 /100

たいしたことをしていない人ほど、一年を振り返る。

040

↓抽象化できないから、リストをそのまま挙げてまとめてしまう。

9 /100

自分の作品を褒めてもらいたいなら、大勢に見せない方が良い。

042

↓客観的な評価ができる人間は、一般の消費者の中にはほばいない、ということだ。

10 /100

仕事欲しい人ばかり依頼していると、つまらないものになる。

044

↓苦手としているもの、あまり引き受けたくないもの、

そういったものを取り入れることで、新しい「得意」ができる。

11 /100

「二十四時間戦えますか」って、誰も戦っていないでしょう？

046

↓むしろ、「いかに戦わないか」が仕事の要ではないのか、と思う。

12 /100

一日に一時間しか仕事をしない、についてインタビューの依頼があつた。

048

↓静かに目立たないように消えていくのが理想だ、と考えているので、

あまり期待しないように。

13 /100

使えそうなものを集めるのが日々の作業。これは仕事とは正反対。

050

↓必要なものを買いにいたり、調べたりするのは、仕事になってしまつて楽しくない。

14 /100

自分が考えて作つたものが誤動作するときほど、不思議なことはない。

052

↓もの凄い不思議なのだが、謎が解けたときの素晴らしさといったらない。

15 /100

落葉がなくなつてしまい、落葉掃除ができなくなった。

054

↓仕事がどれだけでもある、という幻想を持つのは、最初の忙しい時期、

つまりは成長期の傾向分析によるものだ。

16 /100

「あの人も歳を取つたな」と感じるのは、歳を取つたせい。

056

↓人間の変化を「歳」のせいにするのが、実は自分の身に起こつた年齢による「劣化」を
気にしているからにほかならない。

17 /100

「もう少し早く出会っていれば」という「先から目線」が多い。

058

↓そういう人は、高校生のときでも、若いときでも、やっぱり「いや、もう少し早く出会っていたら」と同じ言葉で自分を抑えてきたのだろう。

18

/100

ルールが決まっている中での発想は、大して面白くない。

062

↓ はつきりとわかっていない分野では、なんでもありになる。

19

/100

歳を取って最も衰えるものは、創意である。

064

↓ 小さなもの、下らないもの、なんでも良いから、自分で考えて作ってみることである。

20

/100

なにごとにも工夫が必要であるって、誰も「こうぶ」とは読まない？

066

↓ リアリティを出すために、日々僕は工夫をしている。リアリティではなくて。

21

/100

学ぶことは、考えることではない。

068

↓ 考えずに知識ばかりを吸収していると、知識の肥満になる、と僕には見える。

22

/100

勉強しているんだぞ、という態度は格好良いのか。

070

↓ 毎日好きなことをして「遊んでいる」方が立派だと感じる。

23
/100

知ることと気づくことの差は大きい。

072

↓それは、自分の頭の中に一つの道筋（回路）が
通じた感覚がもたらす爽快感にほかならない。

24
/100

書齋で考える。でも、思いつくのは庭。

074

↓畑を耕し、種を蒔いておかないと、芽は出てこないということ。

25
/100

何故うちの犬は空を飛べるのか。

076

↓その問題がどうして成り立つのか、をさきに考えなければならない。

26
/100

どうして、昔の科学は哲学だったのか。

078

↓知らないことに対して、調べるまえに、自分で「こうなんじゃないかな」
という仮説（自分なりの解釈）を持っていることが大事だと思う。

27
/100

動画っていうのは、「知識」なのか？

080

↓今の人は、「それ、見たことあるよ」が、「知っている」ことなのだ。

28 /100

マルチウィンドウ、マルチタスクでなければ仕事にならない。

082

↓ものを発想するときの頭脳は、たいていそんなふうに落ち着きがないものである。

29 /100

「知りたいこと」が、いつの間にか「賛同したいこと」になる。

084

↓自分が思っていたものと違っていているからこそ見る価値があるのではないか、と僕は思う。

30 /100

いかなるものも、好き嫌いが分かれる。

086

↓「好きか嫌いかに分かれる」というのは、ほぼ全員が興味を示す、ということにほかならない。

31 /100

うちの犬の口癖は、「ただやないでえ」である。

088

↓思考力が人間の嫌らしさの元凶なのか、とも思うのである。

32 /100

透明感って何なのか？

090

↓透明感とは子供や若者にだけ表れるもののようにも思える。

33 /100

リバーシブルは便利なのか。

092

↓人間も、人生の半分のところで、裏返しになって生きてみたら、面白いのではないか。

34

/100

意味は一般的だが、美しさは個人的である。

096

↓美は、やはり感覚的であるゆえ個人的なもので、そこでは理屈は後付けになる。

35

/100

二十代で引退しなければならないのは、努力や技ではないということ。

098

↓ここには、人の「差別」にも近い香りが少し漂っていないだろうか。

36

/100

「書きたいことがない」ということについて書きなさい。

100

↓プロというのは、書きたいことがなにもない状態でも書ける。

37

/100

こんなふうを考えてしまう、という人は、考えていないだけ。

102

↓自分の思考、自分の能力ですべてが解決できるわけではない。

38

/100

調子が良いときにセーブし、悪いときこそゴーサインを出す。

104

↓金が入って嬉しいときに、使わないで我慢をすると、貧しいときに、その金が活きる。

39 /100

質素な生活が好きだから、好きなように生活している。
↓今のこの生活というのは、つまり人に自慢できるものに価値を見出さない、
という基本的な好みの結果だと思う。

106

40 /100

「もったいない」という気持ちが、大きな無駄を生むことがある。
↓本当はできるだけ早く見切りをつけ、全部を捨てて最初からやり直すと、
意外にも少ない労力であっさりと物事が解決することが多い。

108

41 /100

感動を与えたいって、何様のつもりか。
↓自分が観察し、自分が受け取り、自分が解釈し、自分が考え、
自ら感動するのではないのか。

110

42 /100

スポーツに関する美化、精神論に見える体育会系の行儀。
↓「恩返し」というものは、本人が恩返しできた、と思うだけで充分なものだ。

112

43 /100

国が悪い、と声を上げるまえに、自分にやれることを少しは考えよう。
↓自分を責める気持ちがなければ、またいずれ同じ災難に遭うだろう。

114

44 /100

「税金泥棒！」と怒る人にかぎって、さほど税金を払っていない。

116

↓「偉そうな」態度とは「偉くない」ことと同値なのである。

45 /100

差別はいけないと思うが、過敏に反応するのは少し気持ち悪い。

118

↓弱者を守ってやるんだ、とあまり過敏になると、

それもその弱者への差別を強調しているように感じられる。

46 /100

励ますことが苦手だが、励まされることはもっと苦手だ。

120

↓愛情のメカニズムについては、わからない部分もあるが、

あまり深く考えないことにしよう。

47 /100

金メダルを噛むことを禁止した、というニュースについて。

122

↓「これは夢なのか？」と自分の頬を抓るような行為なのだ、と思う。

48 /100

たちまち越えられるようなものは、峠ではない。

124

↓峠というものは、やはりそれなりの高さというか、

上る時間が必要だと思う。

49 /100

芸術には、不幸な経験を最上の価値へ変換させる力がある。

126

↓ 苦痛を「美」に変換できるのは、まさにエネルギー変換の最たるものといえるだろう。

50 /100

本格ミステリイを書きたくない理由について。

128

↓ 結局は、純粋な小説にとつては余計なものだと受け取られる。

ネタばれされれば価値はない。

51 /100

彼、彼女、という言い方が、性別に無関係になるだろう。

130

↓ いちいち性別を確かめないと、呼ぶこともできない、文章でも書けない、なんて状況の方が不自由で不自然だろう。

52 /100

映像美って何？

132

↓ その見どころ（目のつけどころ）に、美しさを見出す能力が問われる。

53 /100

微妙なツイッタ感を少しまとめて書いておこう。

134

↓ いかに効率良く、自分に価値のあるものを取り出すことができるかが、つまりはその人の能力になるだろう。

54
/100

「技術」とは、簡単な方法を探ることである。

136

↓危なっかしい方法で、ちよつと気を許すと失敗をしてしまう、精神統一し、息を止めてやらないとできない、といった作業、これは技術ではなく、芸術の世界になる。

55
/100

失われた機械技術について。

138

↓現在の技術というのは、少々洗練されていなくても、最適ではなくても、答が出れば良い、といった「醜さ」を抱えているのだ。

4限目

自分を見失わない「関係」論

56
/100

綺麗事フォーエバな社会って、豊かさの末路なのだろうか。

142

↓綺麗事を言う人は、たいていの場合、自分の家が綺麗なら良い、と考えているらしい。

57
/100

空気を読むのは、空気に流されるためではない。

144

↓ときには、大勢に逆らった意見が、みんなを飛翔させるきっかけになることもあるはずだ。

58 /100

ときどき抵抗を確かめた方が安全である。

146

↓この観測をしなくなると、慣れない場面では転んでしまうだろう。

59 /100

良いことを言っても、凄いところを見せないと聞いてもらえない。

148

↓生きる抵抗のことを「生き甲斐」というのである。

60 /100

鈍感さは武器だ。しかし、武器はのちのち処理に困る。

150

↓もっと感じるべき自分の方向へセンサを向けるべきだろう。

61 /100

なにかというと、自分のタイプを分析したがる人がいる。

152

↓自分の好きなものを、やたらと挙げる自分が自分を理解してもらえないことだ、
という考えは甘いと思う。

62 /100

認められているという感覚こそが、「自己」である。

154

↓健気に大人しく空気を読んで、差し障りのないことしかできない、
そんな不自由さが今の若者の傾向の一つになった。

63 /100

グループには、能動型と受動型がある。

156

↓強制的に参加させられた受動型グループであっても、

そこで自分の場所を見つけることもある。

64 /100

相手の印象を常に修正できない人は、きっと損をしている。

158

↓少ないサンプルで評価を決定してしまうのは、そもそも不精確だといえる。

65 /100

黙っていることの価値というのは、実のところまずない。

160

↓黙っていた方が良く、という場合は本当はない。

ただ、「言い方」に気をつけた方が良い。

66 /100

「個人的には」という言葉の前も後ろも、ずっと個人的である。

162

↓一般的な観測をする場合には、自己の感情を切り離さなければならず、

そのときには、それなりの理論体系がバックボーンとして存在しなければならない。

67 /100

爪が伸びていることを指摘する女子が、小学生のときにいた。

164

↓この頃の良心は「寄って集って」クレームをつけ、謝るまでバッシングする。